○昔ながらの山腹工

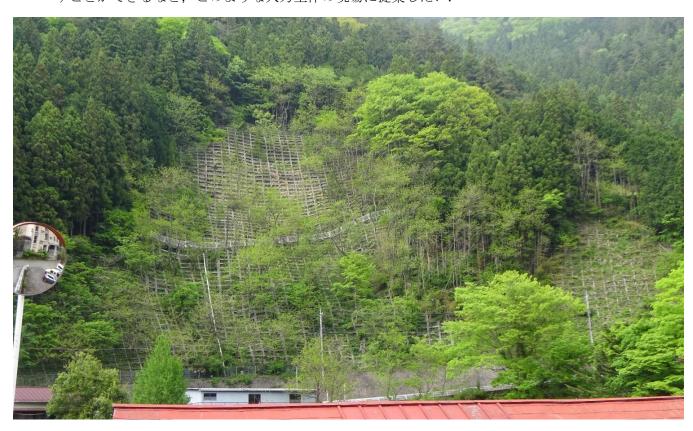
現在でも、このような過酷と思われる工事が行われていることへの驚き・・・





○法枠工:モルタルが圧送できれば、この方が楽・・・

PR:「アンカーネット工」は、①ルーズな不安定土塊をある程度固定できる(法面整形作業の縮小)、② コンクリート等(重量物)の運搬・養生が不要、③斜面頭部からの逆巻施工(ロープ足場)であり、施工の安全性を確保しやすい、④法面工は二次製品の現地組み立てのため、運搬・施工が容易、④立木を残すことができるなど、このような人力主体の現場に提案したい.



○湧水による?剥離

豪雨時等の地下水による崩壊跡とすれば、これをモルタルで覆う行為は崩壊助長策?

・・・・平常時の湧水の有無とは別に、水抜きを密に設置すべきでは



○道路際コンクリートキャッピング(箱状)の剥離



除雪機械の影響とすれば、埋設状態とする必要がある.

○落ち葉等による水路の埋没



二次製品を設置するより、土水路状のもの(漏水防止用底張り付)に暗渠管(ϕ 10~20cm)を載せたような構造が適当では?

会計検査を恐れず, 創意工夫を!